

東日本大震災の影響調査

－消費者編－

利用者のために

調査の実施方法

- (1) アンケート実施時期：2012年1月26日（木）～1月31日（火）
- (2) アンケート方法：インターネット調査
- (3) インターネット調査実施：㈱ネットマイル
- (4) 調査対象
 - ①年齢別 「16-29歳」、「30-39歳」、「40-49歳」、「50-59歳」、「60歳以上」
 - ②性別 「男性」、「女性」
 - ③地域別 「北海道・東北」、「関東」「東海・北陸」、「近畿・中国」、「四国・九州」
 - ④居住形態 「単身」、「同居」
- (5) 回収状況

アンケートの有効回収数は以下のとおりである。

有効回収数

	16-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60歳以上		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
北海道・東北	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	300	300	600
関東	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	300	300	600
東海・北陸	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	300	300	600
近畿・中国	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	300	300	600
四国・九州	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	300	300	600
計	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	1,500	1,500	3,000

本調査では日本の人口構成を反映するために「平成22年度国勢調査（総務省統計局）」を元に地域別、性別、年齢階層別にウエイトをつけて集計した。以下、調査結果についてはウエイトバック後の数値である。

調査客体数(人)

	16-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60歳以上		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
北海道・東北	30	29	26	25	24	25	28	29	57	76	165	185	350
関東	104	97	99	92	90	84	77	75	162	194	532	542	1,074
東海・北陸	44	41	41	38	37	35	35	35	77	95	233	245	478
近畿・中国	60	59	53	54	49	50	46	48	108	137	317	349	666
四国・九州	38	38	32	33	29	31	34	35	69	93	202	231	432
計	276	264	250	243	230	226	221	223	473	595	1,449	1,551	3,000

注：ウエイトバック後

1 東日本大震災直後における食生活への影響

消費者において食生活への影響が大きかったのは、「日常的に消費している食品・飲料の供給不足」、「原子力発電所事故の影響」、「備蓄したい食品・飲料の供給不足」が上位3つとなっている(図1-1、表1-1)。以下、「食品小売店の営業中止・営業時間の短縮」、「飲食店の営業中止・営業時間の短縮」の順となっている。

年代別では、若齢世代ほど、「備蓄したい食品・飲料の供給不足」、「食品小売店の営業中止・営業時間の短縮」の割合が高い。

地域別では、被災地及びその周辺である北海道・東北、関東において、「日常的に消費している食品・飲料の供給不足」、「備蓄したい食品・飲料の供給不足」「食品小売店の営業中止・営業時間の短縮」の割合が高い。

図1-1 東日本大震災直後における食生活への影響

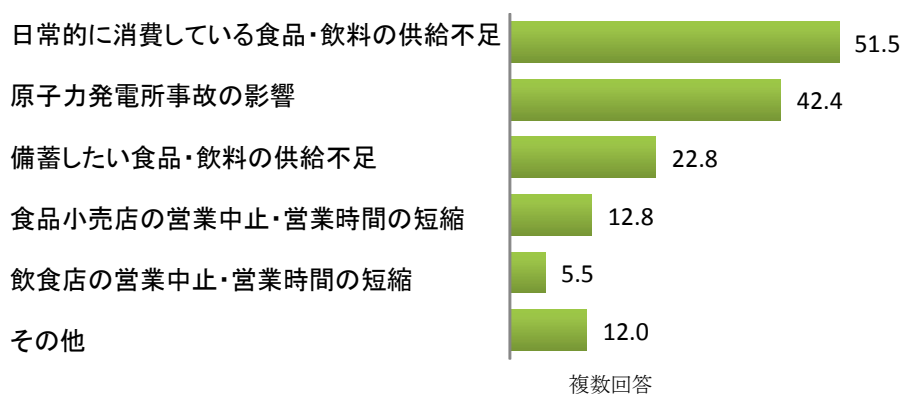


表1-1 東日本大震災直後における食生活の主な影響

	回答数	日常的に消費している食品・飲料の供給不足	備蓄したい食品・飲料の供給不足	食品小売店の営業中止・営業時間の短縮	飲食店の営業中止・営業時間の短縮	原子力発電所事故の影響	その他	
		人	%	%	%	%	%	%
計	3,000	51.5	22.8	12.8	5.5	42.4	12.0	
性別	男性	1,449	52.3	18.5	14.2	6.4	40.7	11.7
	女性	1,551	50.7	26.9	11.5	4.7	43.9	12.4
年代別	16-29歳	540	49.7	25.5	14.9	6.6	35.7	10.8
	30-39歳	493	55.6	24.7	15.5	7.1	43.6	9.1
	40-49歳	456	53.8	25.4	13.2	6.8	44.0	10.7
	50-59歳	443	48.8	24.9	13.1	5.5	42.1	11.9
	60歳以上	1,068	50.5	18.6	10.2	3.7	44.6	14.7
地域別	北海道・東北	350	61.2	23.4	28.8	7.3	35.8	10.9
	関東	1,074	67.1	27.9	21.4	7.9	43.8	3.8
	東海・北陸	478	43.8	22.1	5.4	3.6	41.6	15.1
	近畿・中国	666	38.4	20.1	3.0	3.9	44.5	16.1
	四国・九州	432	33.4	14.8	1.7	2.7	41.7	24.0
住居	単身	649	46.7	20.6	13.9	5.7	38.4	14.8
	同居	2,351	50.0	23.5	12.3	5.4	41.6	12.8

複数回答

2 東日本大震災後の食料購買行動の変化

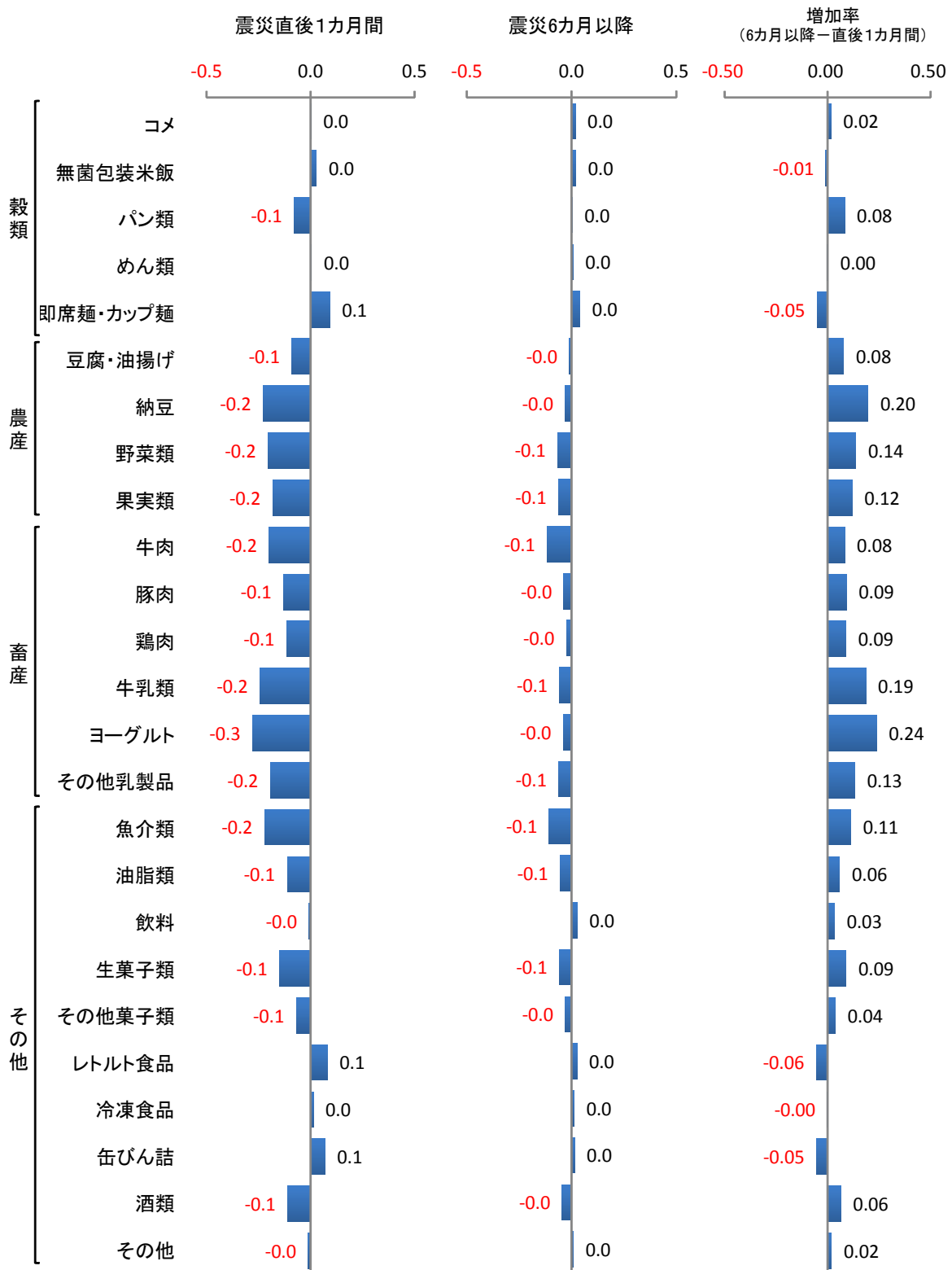
東日本大震災は食料品のサプライチェーンの寸断など供給に大きな被害をもたらしている。震災直後1カ月間及び6カ月以降の消費者の食料品購入行動にどのような影響を及ぼしたのかについて、震災前との比較をみることにしたい。

震災直後1カ月間において購入量が減少した品目は、ヨーグルト、牛乳類、納豆など供給不足となったものに加え、野菜、果実、牛肉、その他乳製品、魚介類となっている。一方、即席麺・カップ麺、レトルト食品、缶びん詰は増加しており、備蓄を目的とした購入の増加がうかがえる（図1-2）。

震災後6カ月以降は電力供給の制約も解除され、食料品の供給が震災前の水準に回復したことから、それぞれの品目の購買も回復している。震災直後1カ月間から震災後6カ月以降の購入の増加状況をみると、震災直後に供給不足となったヨーグルト、牛乳類、納豆、その他乳製品のほか、野菜類、果実類、魚介類、豚肉、鶏肉、生菓子類、パン類、豆腐・油揚げ、牛肉などが増加している（図1-2）。

また、震災直後1カ月間と比べて震災後6カ月以降の購入した人数の増加割合をみると、無菌包装米飯、米、即席麺・カップ麺、缶びん詰、冷凍食品、レトルト食品など備蓄目的の品目が増加している。また、震災直後に供給不足となったヨーグルト、その他乳製品、納豆のほか、油脂類、生菓子類、牛肉、めん類、豆腐・油揚げ、魚介類などが増加している（図1-3）。

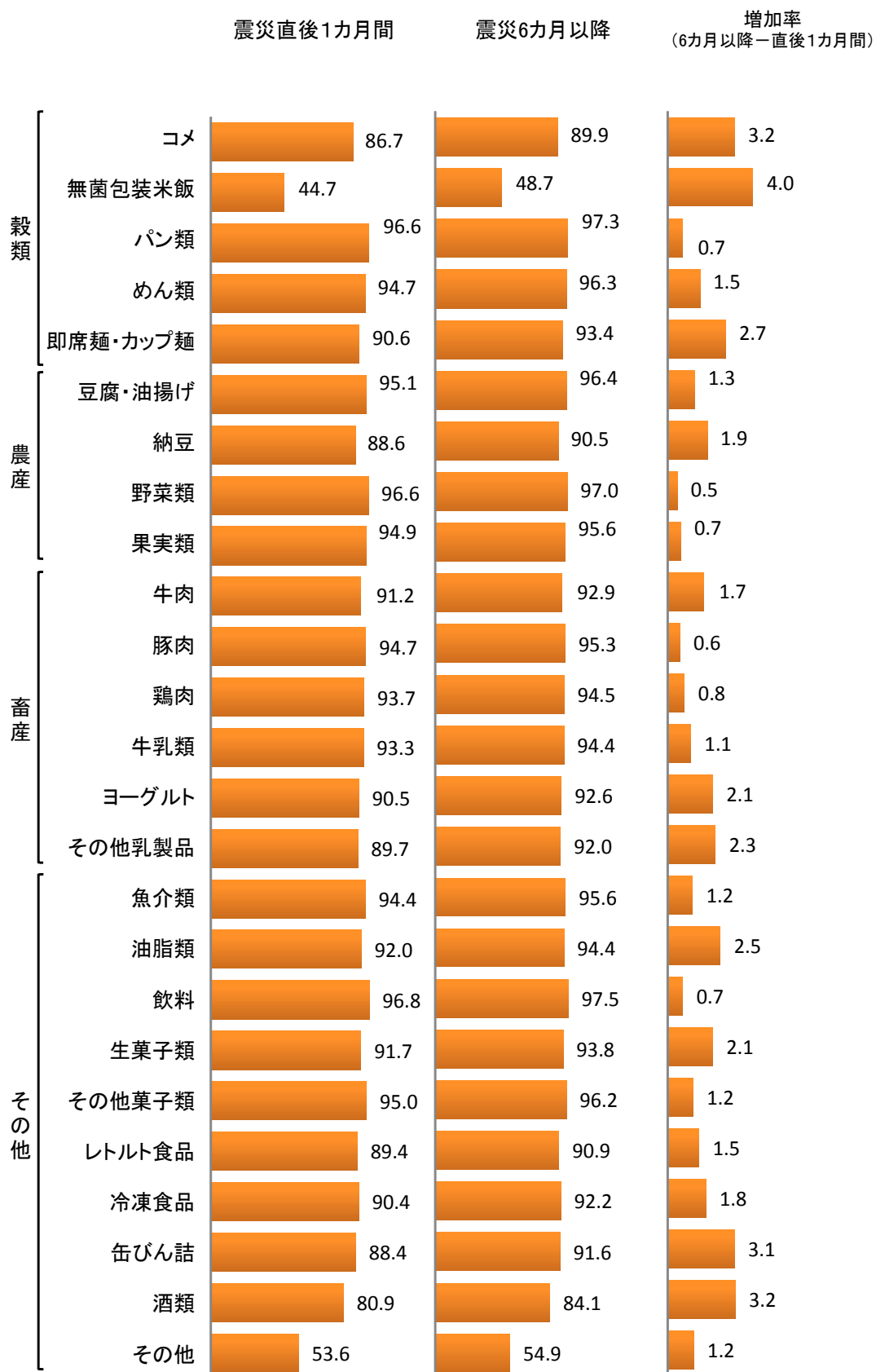
図1-2 東日本大震災における食料品の品目別購入状況



注：数値は、購入量が震災前との比較で「増えた」2点、「やや増えた」1点、「変わらない」0点、「やや減った」-1点、「減った」-2点を集計したもの。最大2点、最小-2点である。

図1-3 東日本大震災後における食料品の品目別購入割合

単位：％



3 東日本大震災後における外食・中食・内食の変化

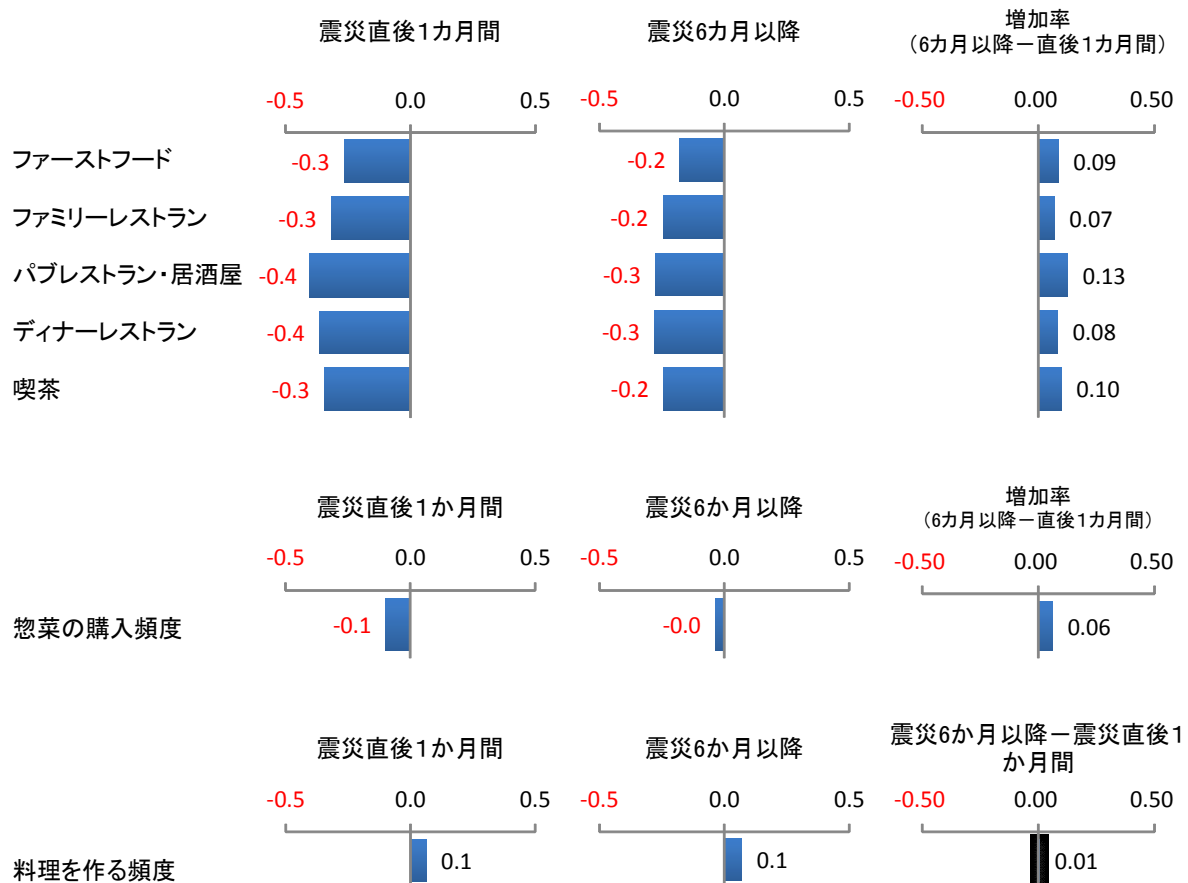
東日本大震災は人的被害がきわめて大きかったことから、その後の報道などによれば、特にレジャー、イベント、外食などの自粛が国内全体に広がった。

外食行動についてみると、震災直後1カ月間は震災前と比べて、すべての業態でマイナスとなっている。震災6カ月以降においても、回復がみられるものの、マイナス幅が減少しているにすぎない（図1-4、図1-5、表1-2）。震災において外食への影響が大きかったことがわかる。

惣菜の購入は、震災直後1ヶ月間はわずかに減少した。震災6カ月後は改善がみられる。（図1-4、図1-5、表1-3、表1-4）

料理を作る頻度は震災直後1ヶ月間、震災6カ月後において大きな変化はみられない。（図1-4、表1-5）

図1-4 東日本大震災後における外食・中食・内食の現状



注：数値は、購入量が震災前との比較で「増えた」2点、「やや増えた」1点、「変わらない」0点、「やや減った」-1点、「減った」-2点を集計したもの。最大2点、最小-2点である。

図1-5 東日本大震災後において外食・中食を利用した人の割合

単位:%

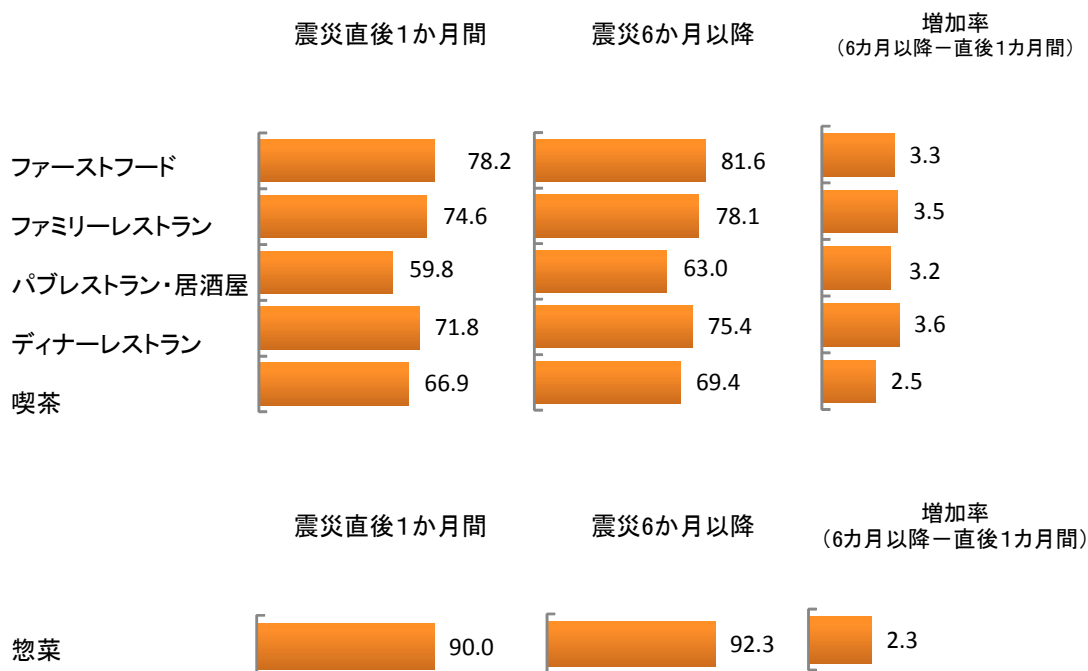


表1-2 外食の利用頻度

		回答数	計	週に5~6 回以上	週に3~4 回程度	週に1~2 回程度	あまり利用 しない
		人	%	%	%	%	%
計		3,000	100.0	4.2	6.2	29.1	60.5
性別	男性	1,449	100.0	5.4	8.0	27.6	59.1
	女性	1,551	100.0	3.1	4.5	30.6	61.8
年代別	16~29歳	540	100.0	3.8	9.2	34.1	52.8
	30~39歳	493	100.0	4.8	7.3	33.9	53.9
	40~49歳	456	100.0	4.8	4.6	30.3	60.3
	50~59歳	443	100.0	5.0	5.9	25.6	63.4
	60歳以上	1,068	100.0	3.6	4.8	25.3	66.3
地域別	北海道・東北	350	100.0	2.5	4.3	26.3	66.9
	関東	1,074	100.0	5.5	8.8	28.8	56.9
	東海・北陸	478	100.0	2.2	3.6	32.4	61.9
	近畿・中国	666	100.0	4.9	6.2	29.2	59.6
	四国・九州	432	100.0	3.5	3.7	28.6	64.1
住居	単身	649	100.0	6.3	9.9	29.0	54.9
	同居	2,351	100.0	3.1	4.3	30.0	62.6

表1-3 惣菜・弁当の購買頻度

		回答数	計	週に5～6 回以上	週に3～4 回程度	週に1～2 回程度	あまり利用 しない
		人	%	%	%	%	%
計		3,000	100.0	3.2	9.9	31.6	55.3
性別	男性	1,449	100.0	3.8	11.4	32.4	52.3
	女性	1,551	100.0	2.7	8.5	30.7	58.1
年代別	16-29歳	540	100.0	5.1	12.6	30.0	52.3
	30-39歳	493	100.0	4.5	11.6	33.7	50.2
	40-49歳	456	100.0	5.3	10.2	33.3	51.1
	50-59歳	443	100.0	2.9	9.7	31.9	55.4
	60歳以上	1,068	100.0	1.0	7.7	30.4	61.0
地域別	北海道・東北	350	100.0	2.8	9.5	30.7	57.2
	関東	1,074	100.0	3.9	10.5	30.9	54.7
	東海・北陸	478	100.0	1.6	8.9	29.0	60.5
	近畿・中国	666	100.0	3.6	10.7	32.9	52.7
	四国・九州	432	100.0	3.1	8.6	34.7	53.6
住居	単身	649	100.0	6.3	16.5	31.6	45.6
	同居	2,351	100.0	2.6	8.3	31.8	57.3

表1-4 惣菜・弁当の購入場所

		回答数	コンビニエ ンスストア	スーパー マーケット	百貨店	惣菜・弁 当販売店 (駅なか含 む)	惣菜・弁 当等宅配	その他
		人	%	%	%	%	%	%
計		3,000	32.5	70.4	11.0	11.1	3.0	4.1
性別	男性	1,449	39.4	68.1	5.8	12.2	3.0	3.3
	女性	1,551	26.0	72.5	15.9	9.9	2.9	4.9
年代別	16-29歳	540	46.2	65.3	6.4	9.4	4.9	2.0
	30-39歳	493	42.1	69.4	5.7	14.5	1.9	2.1
	40-49歳	456	38.9	69.7	7.8	11.8	3.6	3.3
	50-59歳	443	29.8	73.4	12.0	9.2	4.0	3.3
	60歳以上	1,068	19.3	72.4	16.8	10.8	1.8	6.9
地域別	北海道・東北	350	37.5	74.6	6.9	8.9	1.5	3.5
	関東	1,074	34.5	65.1	12.8	12.7	2.9	3.9
	東海・北陸	478	29.2	74.1	7.2	7.2	2.6	4.5
	近畿・中国	666	30.1	75.7	14.3	9.5	3.0	3.8
	四国・九州	432	30.7	68.0	9.2	15.4	4.7	5.5
住居	単身	649	40.1	70.4	7.4	9.7	4.2	3.2
	同居	2,351	33.6	71.5	9.0	11.3	3.0	3.6

複数回答

表1-5 家庭における料理の頻度

		回答数	計	ほぼ毎日	週2~4日	たまに作っている	あまり作っていない
		人	%	%	%	%	%
計		3,000	100.0	50.6	10.2	12.6	26.6
性別	男性	1,449	100.0	27.3	10.4	18.8	43.5
	女性	1,551	100.0	72.4	10.1	6.7	10.8
年代別	16-29歳	540	100.0	28.4	16.2	16.6	38.8
	30-39歳	493	100.0	41.9	11.6	19.1	27.4
	40-49歳	456	100.0	49.6	10.5	13.7	26.1
	50-59歳	443	100.0	56.8	8.4	11.9	23.0
	60歳以上	1,068	100.0	63.7	7.2	7.2	21.8
地域別	北海道・東北	350	100.0	54.0	8.4	14.9	22.8
	関東	1,074	100.0	49.4	12.6	11.4	26.6
	東海・北陸	478	100.0	53.5	8.4	10.7	27.4
	近畿・中国	666	100.0	48.7	9.3	13.6	28.3
	四国・九州	432	100.0	50.6	9.3	13.9	26.2
住居	単身	649	100.0	42.5	19.0	16.8	21.7
	同居	2,351	100.0	49.4	7.6	13.7	29.3

4 東日本大震災前後における食料品の備蓄状況

(1) 食料品の備蓄状況

東日本大震災前後における食料品の備蓄状況についてみると、「震災前に食料品を備蓄していた」のは約半数（48.3%）であったが、「現在備蓄をしている」のは約6割と増加しており、消費者の食料品備蓄行動が定着しつつある（図1-6、表1-6～表1-8）。

食料品の備蓄で多い品目は、飲料、即席麺・カップ麺、缶びん詰、米、レトルト食品等の順となっている。

図1-6 東日本大震災前後における食料品の備蓄状況

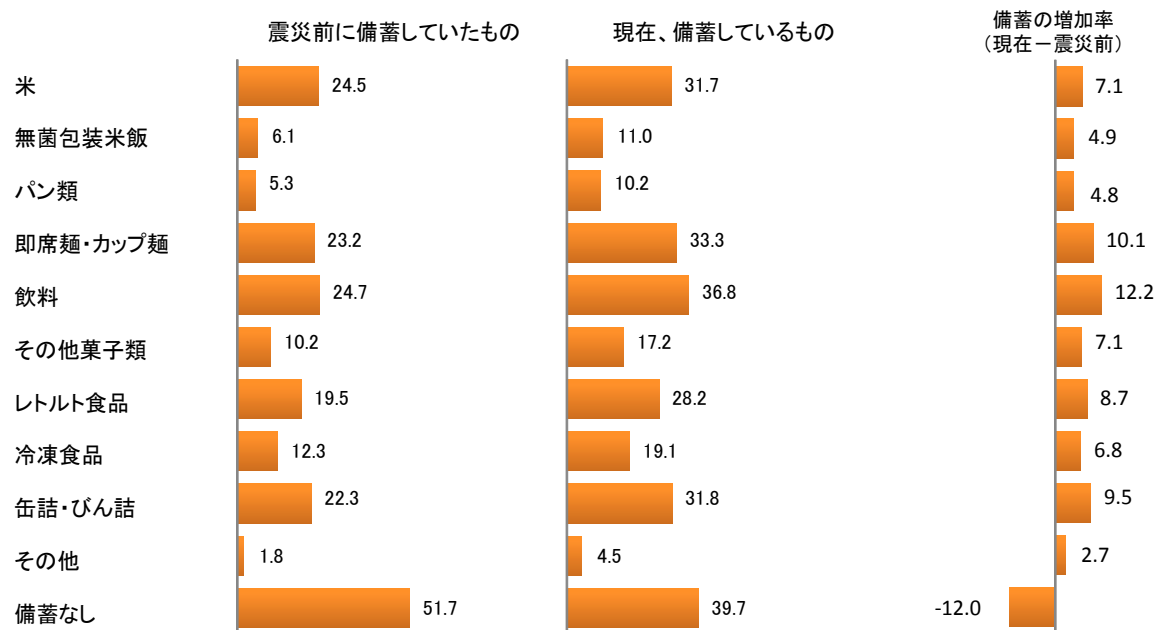


表1-6 大震災前に備蓄していたもの

	回答数	品目										備蓄して いたもの はない	
		米	無菌包装 米飯	パン類	即席麺・ カップ麺	飲料	その他菓 子類	レトルト食 品	冷凍食品	缶詰・び ん詰	その他		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
計	3,000	24.5	6.1	5.3	23.2	24.7	10.2	19.5	12.3	22.3	1.8	51.7	
性別	男性	1,449	21.2	4.9	4.9	22.3	22.2	7.8	18.1	12.0	19.6	1.3	56.5
	女性	1,551	27.6	7.1	5.7	24.0	26.9	12.4	20.8	12.6	24.9	2.2	47.2
年代別	16-29歳	540	22.7	5.5	5.5	20.1	18.4	8.9	17.7	12.9	18.9	1.2	56.6
	30-39歳	493	21.1	4.0	4.8	22.2	19.9	12.0	16.9	10.7	21.1	1.2	54.5
	40-49歳	456	26.7	7.6	4.6	27.1	28.4	12.2	21.2	11.6	21.3	1.4	50.0
	50-59歳	443	23.5	6.3	4.6	27.6	27.2	10.3	21.5	14.4	24.2	2.1	47.3
	60歳以上	1,068	26.6	6.5	6.1	21.8	27.3	9.1	20.0	12.1	24.3	2.4	50.4
地域別	北海道・東北	350	27.1	5.8	5.5	27.0	21.0	12.1	18.6	13.3	24.3	0.9	53.4
	関東	1,074	26.9	7.5	6.7	23.2	27.9	11.6	22.4	14.1	25.2	2.9	45.1
	東海・北陸	478	23.7	4.9	5.0	26.0	30.4	11.1	20.9	10.8	25.0	1.7	48.3
	近畿・中国	666	22.5	5.3	4.6	20.2	21.4	7.7	16.4	10.0	17.7	0.6	57.6
	四国・九州	432	20.6	5.0	3.4	21.6	18.2	7.8	16.1	12.1	18.0	1.5	61.3
住居	単身	649	19.9	4.5	3.9	19.9	17.3	7.1	17.1	11.4	17.6	1.1	59.5
	同居	2,351	24.8	5.8	5.1	25.3	25.1	11.4	19.4	12.3	22.8	1.6	51.4

複数回答

表1-7 現在、備蓄しているもの

		回答数	米	無菌包装米飯	パン類	即席麺・カップ麺	飲料	その他菓子類	レトルト食品	冷凍食品	缶詰・びん詰	その他	備蓄して いたもの はない
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計		3,000	31.7	11.0	10.2	33.3	36.8	17.2	28.2	19.1	31.8	4.5	39.7
性別	男性	1,449	27.2	10.2	8.7	32.2	33.2	13.8	25.8	18.4	27.2	4.3	43.9
	女性	1,551	35.9	11.8	11.5	34.4	40.2	20.4	30.4	19.7	36.1	4.6	35.7
年代別	16-29歳	540	29.2	9.4	9.2	31.1	29.2	14.5	25.3	16.4	25.1	3.0	44.7
	30-39歳	493	31.2	8.6	8.2	32.2	34.0	20.6	27.6	16.5	30.3	4.2	39.5
	40-49歳	456	27.8	14.6	9.4	34.2	39.8	19.1	31.7	18.5	29.7	4.1	38.9
	50-59歳	443	29.7	13.1	9.7	38.6	41.2	17.7	29.9	21.5	33.4	4.2	36.1
	60歳以上	1,068	35.6	10.5	12.0	32.4	38.8	16.1	27.6	20.9	36.2	5.5	39.0
地域別	北海道・東北	350	35.6	9.6	10.1	36.9	34.6	17.4	29.1	20.6	35.1	4.8	39.1
	関東	1,074	35.9	14.1	11.6	35.3	45.6	21.4	32.3	21.4	38.7	5.6	31.2
	東海・北陸	478	32.8	10.0	9.8	33.8	39.3	17.9	29.4	19.2	31.9	4.0	35.2
	近畿・中国	666	26.0	9.2	8.4	29.4	27.5	13.1	23.3	14.6	23.6	3.5	48.8
	四国・九州	432	25.4	8.3	9.5	31.0	28.4	12.4	23.1	19.1	24.6	3.2	52.0
住居	単身	649	27.0	8.9	7.4	27.0	27.0	11.6	23.4	17.4	24.5	2.5	46.5
	同居	2,351	31.0	10.8	10.0	35.9	37.2	18.3	29.2	19.1	31.7	4.6	39.7

複数回答

表1-8 今後、備蓄する予定のもの

		回答数	米	無菌包装米飯	パン類	即席麺・カップ麺	飲料	その他菓子類	レトルト食品	冷凍食品	缶詰・びん詰	その他	備蓄して いたもの はない
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計		3,000	21.8	17.0	10.1	27.2	29.6	14.2	24.7	13.6	27.9	6.0	46.3
性別	男性	1,449	20.1	15.1	10.0	26.0	26.4	13.5	23.5	14.9	25.6	7.0	50.3
	女性	1,551	23.4	18.7	10.1	28.3	32.6	14.8	25.8	12.5	30.0	5.1	42.6
年代別	16-29歳	540	20.4	13.2	9.4	22.0	24.5	12.7	20.3	10.5	22.2	5.1	52.1
	30-39歳	493	18.9	14.1	8.5	22.4	24.6	14.2	20.7	10.0	26.4	4.8	48.4
	40-49歳	456	22.0	18.8	11.9	29.2	31.9	15.3	27.7	15.6	28.1	6.6	44.6
	50-59歳	443	20.5	15.2	7.3	28.9	32.3	13.1	26.5	13.8	28.8	6.8	43.8
	60歳以上	1,068	24.3	20.1	11.6	30.4	32.5	14.9	26.7	16.0	31.1	6.5	44.2
地域別	北海道・東北	350	25.6	15.2	9.5	30.6	28.5	15.4	27.2	13.2	32.4	5.8	46.8
	関東	1,074	24.7	20.5	11.9	29.4	32.1	16.0	27.0	16.4	30.1	7.4	41.2
	東海・北陸	478	22.0	15.6	10.7	27.4	31.9	16.1	25.0	12.7	31.1	5.3	42.8
	近畿・中国	666	17.6	14.1	7.9	23.9	28.2	11.7	21.4	11.1	22.2	4.1	52.3
	四国・九州	432	17.8	15.6	8.9	23.7	24.3	10.1	21.7	12.2	24.2	6.6	53.4
住居	単身	649	20.0	13.6	8.0	22.8	25.1	11.7	21.1	12.6	23.9	5.2	52.4
	同居	2,351	21.2	16.2	9.7	27.7	29.6	14.4	25.3	13.0	28.4	6.0	46.3

複数回答

(2) 食料品備蓄の問題点

食料品備蓄の問題点は、「保存期間の確認とその更新」が6割を超えている。品目により保存期間が異なることから、備蓄の更新が煩わしいと受けとめられている。次いで、「保存する場所がないこと」、「保存期間が短いこと」、「おいしくないこと」、「保存容器が扱いにくいこと」の順となっている（図1-7、表1-9）。

住居別では、同居が「保存期間が短いこと」の割合が比較的高い。

図1-7 食料品備蓄の問題点

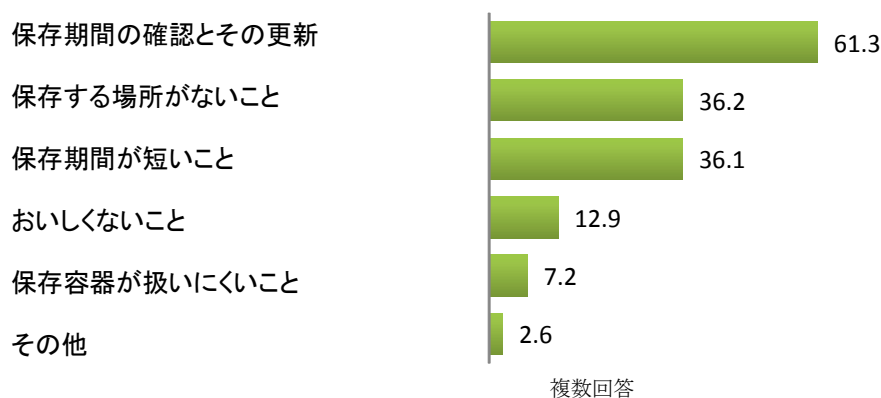


表1-9 食料品備蓄の問題点について

		回答数	おいしくないこと	保存期間が短いこと	保存期間の確認とその更新	保存容器が扱いにくいこと	保存する場所がないこと	その他
		人	%	%	%	%	%	%
計		1,810	12.9	36.1	61.3	7.2	36.2	2.6
性別	男性	813	14.3	36.1	61.4	7.1	32.7	3.0
	女性	997	11.8	36.1	61.2	7.2	39.0	2.2
年代別	16-29歳	299	13.4	33.6	53.2	6.4	40.5	2.7
	30-39歳	298	17.3	34.4	55.3	6.9	42.7	1.9
	40-49歳	278	12.8	37.0	61.1	9.8	35.4	2.8
	50-59歳	283	9.5	38.4	58.9	5.3	39.3	3.8
	60歳以上	652	12.2	36.7	68.8	7.3	30.1	2.2
地域別	北海道・東北	214	6.5	22.0	39.8	5.5	20.4	1.8
	関東	739	12.7	34.0	59.4	6.5	40.2	2.7
	東海・北陸	310	13.0	44.0	63.2	7.0	31.9	2.1
	近畿・中国	340	14.2	34.8	57.6	6.4	36.5	1.9
	四国・九州	207	13.6	34.0	67.1	8.8	30.2	3.4
住居	単身	347	10.7	33.1	57.1	6.9	33.4	4.0
	同居	1,417	13.4	37.7	61.7	7.6	36.6	2.4

複数回答

